

愛媛大学医学部附属病院を受診して、各種臨床検査を受けられた方へ

愛媛大学医学部附属病院検査部では、日常診療の質向上を目的として臨床検査法の院内導入の基礎的検討、精度改良、および異常値の解明など、さまざまな研究を行っております。この研究活動の基礎となるのが、臨床検査を終了した残余検体の再利用です。残余検体の再利用に当たっては「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について－日本臨床検査医学会の見解－」を遵守し行っております。これまでに、残余検体を用いた研究から多くの知見が得られ、臨床検査法の精度が大きく改善し、検査法の意義が確立してきました。この結果、臨床検査医学が大きく前進し、診療の質が向上しました。

当検査部では、臨床検査を終了した残余検体の一部を再利用させていただき、それにより臨床検査法の改善を行い、医学の発展に寄与したいと考えています。

1. 対象

愛媛大学医学部附属病院検査部で臨床検査（検体検査）が施行された後の残余検体の一部を使用させていただきます。

2. 方法

患者さんの個人情報を削除して、別の番号で連結不可能匿名化し、臨床検査値、臨床経過などの医学情報は調査票に記入したうえで、各種検査法の基礎的検討、および臨床的研究を行います。研究者は愛媛大学医学部附属病院内において解析を実施します。

3. 研究における倫理的配慮について

本研究は、臨床検査後の廃棄予定の残余検体を使用するため、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。この検体を用いる研究は、上記のテーマを目的とし愛媛大学医学部倫理審査委員会で承認を受けた研究に限られます。また、氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化し解析しますので、個人情報が漏れることは一切ありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくこともありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するかどうかにより、実際の診療内容に影響することはありませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることは一切ありません。なお、費用は愛媛大学の研究費を用います。この検体を用いて行った研究成果は愛媛大学病院検査部ホームページで公開しています。

上記、臨床検査を終了した残余検体の再利用にご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、検査時に担当者までお申し出ください。

連絡先 愛媛大学医学部附属病院 検査部 代表者 大澤 春彦(おおさわ はるひこ)

連絡担当者名 高須賀 康宣 (たかすか やすのり)

電話 089-964-5111 (代表) 内線 5593 FAX 089-960-5627